

事業所名

グループホーム 青空

(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付

平成21年 1月 9日

評価機関名

㈱東京リーガルマインド

(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員

A:現職 介護保険施設勤務
資格・経験 介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー
B:現職 理学療法士
資格・経験 障害児施設勤務(20年)、理学療法士、介護支援専門員、ｶｲﾄﾞへﾙﾊﾟｰ講師

自主評価結果を見る

(事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る

(評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	・「個人の尊厳を大切に、明るく穏やかな暮らしが出来るように、心温まるケアを提供します」という理念のもと、入居者の持てる力を十分発揮してもらい、暮らしに張り合いを持ちながら穏やかな気持ちで過ごしてもらえるように支援している。 ・管理者は、入居者とのより良い関係を築くためには、職員の職場環境も大切と考え、できる限りストレスを軽減し、職員間のコミュニケーションが良好に図れるように心がけている。 ・入居者一人ひとりが、職員との日々の関わりの中で、自分らしくゆったりと自由に安心して過ごせる場の提供をめざしている。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	・入居者それぞれの今までの生活スタイルや嗜好をよく把握し、一人ひとりが落ち着いて過ごせるようお気に入りの場所作りを心がけている。 ・入居者の趣味や一人で出来る事を日常生活の中で活かせるよう、役割を持ち、張り合いのある生活が送れるように心がけている。 ・職員はそれぞれの持ち味を活かしながら、笑顔でやさしい対応を心がけており、入居者との信頼関係を大切にして、入居者が落ち着いて生活出来る場作りにも努めている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

・東北の豊かな自然に恵まれた場所にホームはあり、季節の移り変わりを肌で感じられる。山間の住宅地の中にあり、日々の散歩も安全に行える。少し足を伸ばせば、スーパー等の商業施設もある。

・母体法人が医療機関であり、充実した医療のバックアップにより、日常の健康管理はもとより、何かあればいつでも対応してもらえる安心感がある。

・入居者が張り合いを持って日々過ごせるよう、炊事等、一人ひとりが無理なくできることを日常生活の中で見つけて取り組んでおり、毎日が充実した生活が送れるように支援することで、入居者の表情を明るく穏やかにしているように感じた。

・職員は、サービスの質の向上に向け、常に前向きに取り組んでおり、内部・外部研修に積極的に参加して自己研鑽に励み、介護資質のレベルアップを図っている。

・食事は、手作りの良さを感じさせる献立で、自分達で収穫した野菜も食材として利用し、入居者に食べる楽しさを提供している。また、便秘予防のため、毎日牛乳も摂っており、食からも入居者の健康な生活を支えている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

改善の余地があると思われる点はない。
・これからも、入居者・家族の思いを大切に受け止め、地域にとって不可欠な高齢者福祉の拠点としてますます発展してかれることを期待する。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	・職員は、入居者の今までの生活スタイルや現在の出来る事を充分把握しており、日々の生活の中で得意な事やできる事を活かすように心がけている。家事の手伝い・煩の手入れ・新聞紙を使つてのごみ袋作りなど、一人ひとりが持てる力を発揮し、皆と一緒に楽しめるように支援している。 ・トイレへの誘導は、あからさまに誘導することなく、入居者の気持ちに配慮しながらそっと声をかけて行っており、本人のプライドを大切にしたい対応に努めている。 ・重要な書類は、事務所で保管して管理している。個別ファイルの背表紙の名前はイニシャル表示にするなど、個人情報に配慮し、取り扱いは十分留意している。 ・居室やトイレ、浴室のドアを開ける時は、必ずノックをしてから入り、プライベートな場所での礼儀をわきまえ、プライバシーに配慮した対応を心がけている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	・職員の介護知識の習得を支援しており、サービスの質の向上に向けて内部・外部研修に計画的に参加している。持ち帰った情報は他の職員に伝え、職員間で知識や情報を共有し、職員全員で介護資質のレベルアップに努めている。 ・各種の業務マニュアルが揃っている。記録の仕方や検査値の見方といった項目もあり、入居者に均一なケアサービスを提供し、安心して生活してもらえるように努めている。 ・問題が生じた際には、その原因や今後の対応について職員全体で充分話し合い、方策を立ててその後のケアに活かし、再発防止に努めている。		